

ほっこりだより

第 63 号 2012 年 1 2 月 9 日 発行

東向日キリスト教会

京都府向日市森本町下森本 6-5

Tel: 075 (931) 5934

http://www.h-mukou-ch.jp/

弱さから来る強さ

◎挫折の苦しみから勝利

若くして晴れの舞台で活躍している石川遼、十勝目を二年ぶりに手にした時、いつも強気の彼の目から涙が落ちていました。周囲からの期待と焦り、彼の中でどれだけの苦しみがあったでしょう。涙の中で周囲の人達への感謝の気持ちを伝えていました。

この勝利に対して次のようなコメントが出されてきました。

「彼は苦しみ、悩んでいた。」

そして、自らが抱えてきた

弱さをここでようやくさらけ出すことができた。十勝目に

して初めて見せた「弱さ」は、いつしか強さへと変わって行く。弱さを見せてこそ、ヒーローは強くなれる。」

◎強さが全てではない。

今の世は強い者が勝つ、幸福と考えます。しかし、弱さを知らない人は、一度挫折を経験した時、脆いのです。予期しない事故や病気、仕事や家族の危機、そこで負けない強さは、その人の弱さの経験から得られるのです。他の人に頼むことやプライドを一度捨てることは強い人には困難なことなのです。「負けるが勝ち」という言葉があります。相手に勝ちを譲ることが、結局は勝利となる意味ですが、一度弱者に回ってみることも必要ではないでしょうか。



◎肉体のとげを持って生きた人

聖書の中にパウロという人物が登場します。彼はエリートコースを走り、怖い者知らずでした。高慢で典型的な強い人間でしたが、キリストに出会って救われ、キリスト教を伝える者となりました。しかし、彼は生涯治らない病を持っていました。

彼は自分が高ぶらないようにされた弱さと受け止めました。パウロは、いつも生かされていることの恵みを感謝し、困難や苦しみに耐えることができたのです。

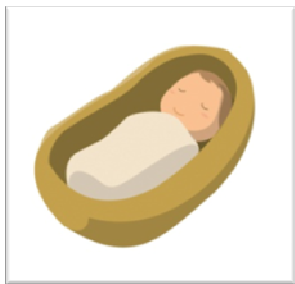
彼は「私は弱さを誇る。弱い時にこそ、強い。」と一見、矛盾する言葉を語っています。

◎イエス・キリストは弱さの中で生まれました。しかし……。

クリスマス、キリストは飼葉おけの中で誕生したと伝えられています。最も弱い存在でした。誕生の目的は、地に平和をもたらすためでした。「俺が俺が」という強さの中では平和は来ないでしょう。争いや戦いがあります。しかし、皆が弱くなったなら、いじめや差別、憎しみも無くなるでしょう。

弱さを持つキリストに人々は集まり、救いを求めました。キリストは全てを支配する王でしたが、人々のため死に勝利され

今も生きておられるまことの強さを持つ神なのです。



俳句

屋形船櫓をこく音も楽しげに

山もみじ色鮮やかな渡月橋 Y子

粕汁の大なべ座る母の家

大夕焼け妹負いし日は昭和 古都葉

短歌

下請けの工場切盛り奮闘す

作業服には汗と鉄錆

ベーターベンの運命を弾く指のよに

樹の根は地面を掴み盛り上ぐ

古都葉

詩

山の緑も赤く色づき

錦絵の如く変わり

目を楽しませる

保津川の水は静かに流れ

舟人達は楽しげに櫓をこぐ

自然の恵みに包まれて喜び集う

神が創造された素晴らしい

天地の恵みに感謝しつつ

Y子

教会案内図です



懐かしい我が家に戻り：

最初に教会に来たのは、小学校二年の時でした。しかし、英語が苦手で行くのを止めてしまいましたが、六年生になって誘われて再び行くようになり、中学の時、洗礼を受けました。でも、高校生になった時、教会に行かなくても神様を信じていたらそれでいいんだと勝手に思い込み、行くことを止めてしまいました。

社会人となり、看護師など色々な仕事をしてこれまで過ごしてきました。しかし、自分の力では信仰から離れてしまうと気づきました。今年の一月、思い切って懐かしい教会に出掛けたのです。

そこでは、かつて一緒に洗礼を受けた友人も待っていてくれました。また、教会の皆さまが喜んで迎えてくれました。そして、一年間休まずに通うことができました。

今、聖書のことばである「わたしは、決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」という神様のことは心に刻んでいます。私は何度も教会を離れて、助けて欲しい時だけ祈ると言う勝手なことばかりやってきましたが、それでも神は、私を離れず、捨てないと迎えておられます。



今までの私は何だったのでしょうか。神様を裏切っていたばかりいました。今度こそ、止めたりせず、大切な信仰の道を歩ませていただきたいと思えます。懐かしい我が家のような教会に戻れたことを心よりの感謝します。 I・Y子



ホルンコンサートを 楽しみました

ホルンとは角の意味から来た角笛のことだそうです。雄羊の大きな角を笛にしています。

昔は、角笛を狩りの時などの合図に用いたようです。実は、聖書には古くから角笛が登場しています。戦いの中で、数万人が一斉に角笛を吹き鳴らして堅固な城壁を崩して勝利した記録もあります。

また、祭りや祝の時に演奏したそうです。「ラッパと角笛の音に合わせて、主である王の御前で喜び叫べ。」と書かれています。

現在のよう金属のパイプで作られたホルンは五〇〇年ほど前から使われています。カタツムリのような楽器ですが、



延ばすと三・五メートルの長さにもなるそうです。音色は木管に似た柔らかさとうるおいを持ち、管弦楽、吹奏楽に欠くことはできません。



聖書にはもう一つ、角笛が大切な知らせをすることが書かれています。天使がラッパを吹いている絵を見ます。これは、喜びの知らせと共に、警告でもあります。終末の訪れる知らせです。やがて神の国が到来します。その時、「天の果てから果てまで、

四方からその選びの民を集める」のです。クリスマスに誕生されたキリストを信じて備えをしておきたいと思えます。



イベントのご案内

- ◎12月23日クリスマス・キャンドルサービス 10時半より。祝会13時半より。
 - ◎1月1日元旦礼拝。11時より。
 - ◎1月13日新春もちつき大会。12時より。
- どなたもお気軽にお出かけください。